

中間とりまとめに向けた計画部会・基本問題小委員会の進め方について（案）

1 今後の議論の進め方について

- (1) 計画部会においては、まず次期の重点計画の策定にあたり前提となる、「計画期間中各事業が横断的に対応すべき重点課題」を検討する。検討結果については、各分野毎の事業内容の検討に反映していくこととなる。
- (2) また、今後多くの社会資本ストックが老朽化し、維持・更新投資の増大が推測されるが、全体で必要な費用の捕捉が不十分であることから、今後必要となる維持・更新投資の推計を行う。併せて、人口減少の本格化等を背景とした維持・更新投資のあり方についても、事業毎の視野を超えた検討を行っていく必要がある。
- (3) 一方、新規需要や維持・更新需要の増大が今後も予測される中で「経済財政諮問会議」等においては、公共投資については国際的に高水準として一層の削減が必要という議論がなされていることから、国土や天候等の国際データ比較による公共事業のコスト構造分析や公共投資の水準論や効果などについて検証を行う。
- (4) さらに、こうした経済社会情勢や地方分権の流れなど、公共事業を巡る環境の変化を踏まえた公共事業の在り方等についての検証を行う必要がある。
- (5) また、こうした議論を行うにあたっては、先行して策定が予定されている、国土形成計画（10－15年程度を想定した、国土の利用、整備及び保全を推進するための総合的かつ基本的な計画）との調和を図る必要がある。

2 今後のスケジュール

4月28日 第4回計画部会

- ①社会資本に関わる当面の検討課題について

6月13日 第1回基本問題小委員会

- ①計画部会・基本問題小委員会の今後の進め方について
- ②横断的に対応すべき重点課題について 等
- ③維持・更新投資について

7月 6日 第5回計画部会

- ①重点化計画のフォローアップ
- ②基本問題小委員会の整理を踏まえた議論 →各分野毎の事業内容の検討に反映

9月 下旬 第2回基本問題小委員会

- ①公共工事の効率性（コスト構造）
- ②維持・更新投資の全体推計について
- ③住宅宅地分科会からの報告 等

10月下旬 第3回基本問題小委員会

- ①維持・更新投資の在り方について
- ②公共投資の在り方について 等

11月下旬 第6回計画部会

- ①基本問題小委員会の整理を踏まえた議論 →中間とりまとめ